

## 60年の主な歩み

昭和 31 年 (1956)	油圧機器工業会、日本自動機器工業会創立
昭和 33 年 (1958)	油圧機器工業会から日本油圧機器工業会に名称改称
昭和 33 年 (1958)	日本油圧機器工業会が機関誌「油圧」を創刊
昭和 34 年 (1959)	関西支部発足
昭和 37 年 (1962)	日本油圧機器工業会から日本油圧工業会に名称改称
昭和 38 年 (1963)	第 1 回世界油圧化機械見本市 (現 IFPEX) 開催 当時の皇太子さまもご見学
昭和 41 年 (1966)	日本自動機器工業会が機関誌「オートマチックコントロールズ」を創刊
昭和 41 年 (1966)	事務局を港区芝公園 3-5-8 機械振興会館に移転
昭和 41 年 (1966)	実用油圧ポケットブックを初めて発刊
昭和 44 年 (1969)	ISO/TC131 国内対策委員会設置
昭和 44 年 (1969)	日本自動機器工業会から日本空気圧工業会発足
昭和 45 年 (1970)	ISO/TC131 第 1 回ロンドン総会に出席
昭和 49 年 (1974)	ISO/TC131 東京国際会議開催
昭和 51 年 (1976)	日本油圧工業会が中央技能検定協会に入会。「油圧装置調整」技能検定開始
昭和 52 年 (1977)	中部支部懇話会発足
昭和 53 年 (1978)	日本油圧工業会社団法人化。社団法人日本油圧工業会発足
昭和 56 年 (1981)	日中油空圧技術交流事業が発足(1997 年終了)
昭和 58 年 (1983)	ハノーバーメッセ見本市(ドイツ)に初めて共同出展し、視察団も派遣
昭和 59 年 (1984)	シンガポールに油空圧技術センター開設 (1995 年閉鎖)
昭和 61 年 (1986)	社団法人日本油圧工業会が創立 30 周年記念式典・祝賀会を開催 (虎ノ門パストラル)
昭和 61 年 (1986)	社団法人日本油圧工業会と日本空気圧工業会が合併し、社団法人日本油空圧工業会が発足
昭和 61 年 (1986)	実用空気圧ポケットブックを初めて発刊
昭和 62 年 (1987)	ISO/TC131 東京国際会議開催
平成 2 年 (1990)	「空気圧装置調整」技能検定開始
平成 3 年 (1991)	PL 団体保険制度発足
平成 8 年 (1996)	合併 10 周年記念式典を開催(虎ノ門パストラル)
平成 10 年 (1998)	ISO/TC118/SC3 及び SC4 の国内審議団体を引継ぐ
平成 11 年 (1999)	社団法人日本フルードパワー工業会に名称改称 ー事業範囲に水圧機器を追加ー
平成 11 年 (1999)	ISO/TC131 東京国際会議開催
平成 12 年 (2000)	米国 IFPE2000 シカゴの会議で水圧会議が開催され、当会で初めて 2 名が出席
平成 13 年 (2001)	PTC-ASIA 見本市(中国)に初めてカタログ共同出展し、視察団も派遣
平成 17 年 (2005)	ISO/TC131 京都国際会議開催
平成 18 年 (2006)	創立 50 周年記念式典を開催(虎ノ門パストラル)
平成 19 年 (2007)	MDA-INDIA 見本市(インド)に初めてカタログ共同出展し、視察団も派遣
平成 19 年 (2007)	油圧・空気圧機器合計年間出荷高が過去最高の 7,377 億円を記録
平成 20 年 (2008)	西日本支部発足 (関西支部と中部支部を統合)
平成 22 年 (2010)	ISO/TC131 東京国際会議開催
平成 24 年 (2012)	一般社団法人日本フルードパワー工業会に移行
平成 27 年 (2015)	ISO/TC131 沖縄国際会議開催
平成 28 年 (2016)	創立 60 周年記念式典を開催(品川プリンスホテル)